

平成 25 年 12 月 16 日

松阪市議会議長
中島清晴様

松阪市議会議員
久松倫生

国民融合全国会議 全国交流集会に参加しましたので報告いたします。

記

日時 平成 25 年 12 月 14 日（土）13 時～17 時
会場 京都市内

行事のテーマ「不公正な行政をただし、『同和行政・教育』の終結と、国民融合をめざす諸課題の達成に向けて」——各地で取り組まれている国民融合の進展をめざす取り組みを交流し、おたがいが取り組むべき当面の課題を明らかにしていく——

開会（事務局）では 「同和事業は終結しているのに、スッキリしていない、それとのたたかいがある」という提起がありました。

各地からの報告として

- | | |
|---------------------|-----|
| （１）同和行政・同和教育の終結をめざす | 和歌山 |
| （２）奈良県上牧町の町政改革の取り組み | 奈良 |
| （３）羽曳野市の地域の取り組み | 大阪 |
| （４）部落差別深刻論について | 京都 |
| （５）大阪における教育の課題 | 大阪 |

がありました。

〈所見〉

報告と討議のなかで、人権にかかわる意識調査と部落差別深刻論の問題、一時期の乱脈な同和行政が長く尾を引いている実態など、主要なところの現状がよくわかりました。

意識調査については、多くの自治体が特定の解放研究所へ丸投げして、深刻な差別論につなげている実態が明らかにされました。

この間松阪市議会でも明らかにしてきた意識調査などの「随意契約」の在り方など発言しましたが、こうした問題が多くの自治体で共通に問われていること、今日的課題として受けとめられました。

今後の取り組みに参考となりますし、自分たちの実践に確信も持てました。

以上